

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2025年7月22日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	新生児消化管疾患に対し手術を行った児の長期的予後の検討
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	三宅 啓
研究期間	2025 年 7 月 ～ 2027 年 3 月
対象者	当院で新生児期特有の消化管疾患(先天性食道閉鎖、先天性十二指腸閉鎖、先天性小腸閉鎖、壊死性腸炎、特発性腸管穿孔)に対し1983年から2024年の間に手術を受けた患者様
当該研究の意義・目的	先天性食道閉鎖や先天性小腸閉鎖などの先天性消化管閉鎖や、腸管穿孔を伴う壊死性腸炎や特発性腸管穿孔といった消化管疾患を持つお子さんに対しては新生児期(生後一か月以内)手術治療が必要となります。近年、新生児期に消化管手術を受けた患者様において長期的に成長発達面での障害の頻度が上がるという報告が散見されています。しかしながら、どのような患者様に長期的な問題が起こるかなどの詳細はまだ十分に解明されていません。 本研究では、当院で新生児期に手術を行った消化管疾患の患者様を対象に、長期的な身体・神経発達及び外科的合併症の有無などの予後を明らかにすることを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（性別、出生時期/体重、診断、併存する問題など） ・臨床データ（手術内容/時間、手術直後の問題の有無など） ・長期的問題点（合併症の発達や身体/神経発達の問題など）
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございました

	ら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 小児外科 三宅 啓 代表 054-247-6251
--	--